

令和3年度学校評価報告書

1 本年度の重点目標

1 問題発見・解決能力の育成	7 個々の事情に配慮した対処・適切な情報管理
2 聞く力・発表する力の育成	8 立案・実施・検証・修正の一体化
3 知識・技能の習得と理解の深化	9 適切な目標設定と自己分析に基づく改善
4 礼節と人間力を身に付け、高めること	10 防災教育のパイロットスクールとしての成果の発信
5 生徒の自己実現に向けた進路指導の実践	
6 防災・減災の担い手としての資質育成	

2 自己評価結果に対する学校関係者評価

A 達成している B おおよそ達成している C あまり達成していない D 達成していない

評価分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		自己評価結果	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学習指導	①現教育課程の効果的な運用及び新教育課程準備進捗状況	B	新課程に係るシラバス作成、改訂版教務規程等については継続的に検討する必要がある。	A	A
	②SSHに関わる学校設定科目の効果的運用について	B	SSH 2期目の申請に向けて、校務分掌の再編成を行い、更なる研究や検討を進める。	A	A
	③観点別学習評価に係る校内規程の改定について	B	評価を吟味し教科単位及び個人単位でのCheckとActionを行い、次のPlan, Doに繋げる。	A	A
学校関係者評価委員会における意見	コロナ禍の影響で書面決議となった学校関係者評価委員会では、自由記述での評価コメントはなかったが、概ね3項目全てにおいて「達成している」の評価を得ている。				
生徒指導	①「時間遵守、礼儀作法、身だしなみ」に重点を置いた基本的な生活習慣の確立について	B	特に靴下については内規の表現を変更し、教員間で共有して指導していく。	A	A
	②ルールを遵守させ、保護者との連携を取りながらのきめ細やかな指導の実施	B	コロナ禍において生活状況が変わり、生徒の生活に影響を与えているので、家庭との連携を密にして指導を充実させていく。	A	A
	③良識ある行動が取れるよう周知し健全な人間形成を促す	B	自転車運転マナー、スマートフォンの使用についての外部指導者を招いた指導機会の確保。	A	A
	④多様な生徒に対する学ぶ意欲を喚起する生徒指導について	B	家庭と連絡を密にすることが必要。情報交換を行うことで早期発見につながり、重大案件になる前に対応していく。	A	A
学校関係者評価委員会における意見	コロナ禍での生活様式が生徒に影響を及ぼしていると考え、生徒に寄り添い、細やかに観察していくことで生徒指導を充実させてもらいたい。				
進路指導	①進路実現に向けた学年毎の取組の充実について	B	学校全体で組織的に指導を行い、担任の負担を軽減していくための努力が必要である。	A	A
	②探究的な活動を活用した組織的な進路指導実践について	B	探究活動のまとめ作業を、進路提出書類の活動履歴等をまとめることに結び付けていく。	A	A
	③教科指導を軸として面談、課外、模試を結び付けた進路指導について	B	ICTを活用したデータ管理や分析手法を活用し、生徒への情報提供を充実させていく。	A	A
	④生徒、保護者、教員を対象に多面的に生徒進路の実現をサポートする取組について	B	オンラインを活用した様々な外部行事が想定されるため、より主体的に参加する姿勢を身に付けさせていく。	A	A
学校関係者評価委員会における意見	コロナ禍の影響で、対面しての指導に制約があると思うが、個別の面談等はやはり重要だと思う。個に応じた指導、個別指導の場面を確保し個性を伸ばす教育に取り組んでもらいたい。				
特色ある学校づくり	①学校を挙げてのパイロットスクールとしての防災・減災・伝災教育の実践	B	コロナ禍での制約があるものの、オンライン会議システムの研究、導入を通して、全国の学校・関係機関との交流を継続する。	A	A
	②SSH校としての特色ある科目、授業展開	B	SSH 2期目の申請に向けて、校務分掌の再編成を行い、学校を挙げて組織的に準備を進めていく。	A	A
	③BYODの実践など、ICT機器を活用した学習活動の充実	B	来年度入学生より全員がiPadを購入するなど、教育環境の充実に向けて絶えず新たな取り組みを実施している。	A	A
学校関係者評価委員会における意見	本項の先進的な取組について、第1回評議員会の席上では肯定的な評価の発言を頂いている。				

3 次年度の課題と改善方策

次年度の課題	改善方策
① 学校のニーズに応じた柔軟かつ迅速な学校経営を実践する	校務分掌の見直し、学校主催行事の時期の検討等を行うことで、組織的に教育効果、効率化を意識した学校経営を実践していく。
② 先手管理の生徒指導を実践する	初期対応を重視しながら、いじめ問題対策委員会等の組織的取組を積極的に展開し、早期発見・早期解決に結び付くよう取り組む。
③ 働きやすい、学びやすい教育環境づくりの推進	今年度は、学校の電話機を交換し、電話対応についての負担軽減を図った。次年度もBYODの推進、オンライン学習環境の充実を継続して進めていく。